



- タウン情報 -

きくがわ

2022

7

Vol. 180



※ 菊川に棲む小動物の写真です。イラストは大根姉妹(姉)が描かれました。



住みよい菊川をつくる会

総会開催

4月29日(金・祝)に、菊川小学校体育館にて住みよい菊川をつくる会の総会を開催しました。総会は代議員制としており、菊川地区内の各自治会長に出席いただきました。

当会の令和3年度の事業報告や決算報告、令和4年度の事業計画や予算、役員の選任、会則の改正について承認を得ました。各事業につきましては、今後の新型コロナウイルス感染拡大状況と照らし合わせながら開催の可否、内容を決定していきます。

また、昨年度に活動を開始した「キクガ“わ”ユメプラン委員会」は、今年度より「住みよい菊川をつくる会 夢プラン部会」と名前を変えて、引き続きより住みよい菊川をつくるため活動を行ってまいります。

- 住みよい菊川をつくる会へのご寄付のお礼 -

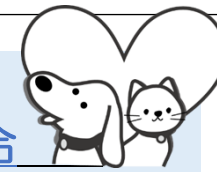
この度は住みよい菊川をつくる会にご寄付いただきありがとうございます。いただいたご寄付につきましては、当会の目的である、「お互いの協力と信頼を高めあいながら心のふれあう文化的で明るく住みよい菊川をつくる」ことに活用させていただきます。

〈一般寄付〉

石田 恵子 様

(小畑地区)

わが家のペット 大集合



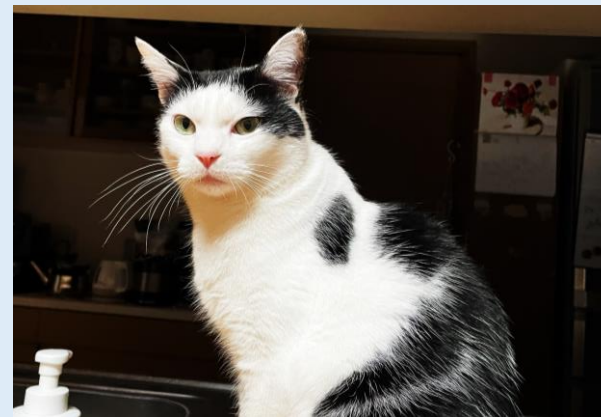
菊川のかわいいペットを集めました♪

■ ジジ(ミーアキャット♂)



コメント：かわいい我が家のアイドルです！

■ 照ノ富士



コメント：名前の由来は顔の模様。ツンデレでビリだけど、愛すべきわが家のヒーローです。いつまでも仲良くしようね❤️

※ 掲載可能な写真データがありましたら、一言コメントを添えて、菊川市民センターへメールをください。常時募集中です♪

数字で見る菊川 (5月末の人口等) 世帯 3,335 世帯 /

人口 7,828 人 / 男 3,827 人 / 女 4,001 人

お口の健康に関する教育 (口腔体操教室) 開催！！

下上菊寿会連合会が、個々人の健康維持の為、周南市健康づくり推進課と協力し、お口の健康に関する教育(以下、口腔体操教室)を開始しました。口腔体操教室は年13回にわたり開催される予定で、お口の健康チェックや口腔体操を定期的に行います。

口腔機能の低下は、食事時にむせこむ、硬いものが噛めなくなる、滑舌が悪くなるといった様々な症状に繋がります。お口の健康を保ち、身体全体の健康に繋げることを目指した取り組みとなっていました。



国益建設株式会社様による 菊川総合グラウンド側溝清掃

下松市にある国益建設株式会社様が、菊川総合グラウンドの側溝を2日間かけて無償で清掃してくださいました。手作業や重機を活用した清掃により、側溝に溢れていた草や砂が綺麗に除去されていました。国益建設株式会社様、ありがとうございました。



住みよい菊川をつくる会 夢プラン部会では、
より住みよい菊川をつくる為、様々な活動を行っています。

4月上旬から下旬にかけて、四熊・小畑地区を中心に移動販売の実態調査を行いました。移動販売の利用者や販売者の生の声を聴き、移動販売の実状を整理していきました。今後も調査を継続していき、菊川地区における買い物手段などをまとめた一覧表を作成し、皆さまのお手元に届けることを目標に活動してまいります。



小畑地区の移動販売の利用者と販売者、そして夢プラン部会の一部メンバーの集合写真です。



また、5月中旬から、菊川を花でいっぱいにする為、ヒマワリの種子を配布しました。その他に、来年度以降も皆様に種を配布するべく、夢プランメンバーで花の成育を行っているところです。昨年の11月にお配りした菜の花の種子から立派な花が咲いたと地域の方から沢山の写真をいただきました。

夢プラン部会では現在一緒に活動する仲間を大募集しております。より住みよい菊川をつくる為に活動したい方ならどなたでも大歓迎です!!もちろん出来る範囲でのご参加で大丈夫です。菊川を花でいっぱいにする活動のみ参加いただくことも可能です。少しでもご参加いただける方、気になる方は菊川市民センター(622801)までお気軽にお問い合わせください。



【新人】 齊藤 むつみ

4月1日より菊川支所配属となりました。今年度より周南市の職員となり、まだまだ分からないことばかりですが、菊川地区の皆さまの力になれるよう精いっぱい頑張ります。よろしくお願いいたします。



菊川 深訪

第49回 戦争の傷跡の深さへの思い

今年は冬季オリンピックの後、ロシアのウクライナへの侵攻で暗い春の幕開けとなった。戦禍の中を泣き顔で歩く子供の映像が映り、また世界でうらみの思いが生まれると想像した。その怨念が平和を脅かすもので、「イスラエル・パレスチナ問題」、「朝鮮半島の南北問題」が今も存在する。

山口県では、数年前に先人の偉業を称える「明治維新百五十年」の記念行事をしたが、東北地方では、「戊辰(ぼしん)戦争 百五十年」であり、この屈辱を忘れない年であった。

「長州藩」と「会津藩」の底流には、次の三点の感情があった。(一)西南諸藩は、東北地方が野蠻で遅れていると誤解していた。(東北には、「坂上田村麻呂の侵攻」、「源頼朝による奥州藤原氏の滅亡」、「豊臣秀吉の奥州仕置」などの歴史がある)(二)長州藩(奇兵隊の最強部隊)は山縣有朋が率いて、長岡(新潟県)で苦戦し、鶴ヶ城攻略には間に合わなかったため、会津では略奪・暴行をしていないが、会津側には誤解がある。(三)明治新政府が「会津藩」に対して、見せしめに削封・転封(青森県の北端)、更に会津地域の発展を妨げる冷めたい処置をし

た。実際の県令(知事)は長州藩以外の人材であったが、明治政府の要人は薩長藩で占めていた。

菊川地区の山崎隊士(戊辰戦争の兵士)は、小田好五郎(四熊)、徳永岩之進(四熊)、戸倉太一郎(上村)、近間松三郎(上村)、永井貞之新(小畑)の五名であった。墓碑は、永源山の「富田護国神社の裏」に三十三名あり、「箱館(現在の函館)戦」での戦死が十五名と一番多い。平均享年は、二十四歳の若さである。又、戦死者の内、十八名が「銃隊」であり、故郷では猟師などの経験があったのであろう。特に「戸倉太一郎」は、北海道(江差)にある檜山(ひやま)護国神社にも眠っている。

「勝者」と「敗者」の見方を公平にするには、偏見を捨て、現地を訪れ、現地を学ぶことや、現地の人と交流を続けることであるが、現状は緒に就いた程度である。



戸倉太一郎平盛義之墓(永源山)

● ● レノファ山口 FC の選手のサインボール展示中 ● ●

明治安田生命保険相互会社 徳山支社 徳山営業所様より住みよい菊川をつくる会へ、サイン入りボールを寄贈いただきました。現在もレノファ山口 FC で活躍されている眞鍋旭輝(マナベヒカル)選手と高橋秀典(タカハシヒデノリ)選手の直筆サインです。菊川市民センターに展示してありますので、ご興味のある方は市民センターまでお越しください。ボールスタンドは、休校中の小畑小学校で活動されている「小畑木工クラブ」の方々が作ってくださったものです。

